



学校法人永原学園 さんこう 児童クラブ通信

令和7年12月発行

— 第9号 —

【三光幼稚園】

TEL:0952-31-0753

【さんこう児童クラブ携帯】

TEL:090-7430-1312

毎日の積み重ね

時折、親しい保護者の方から「子どもに宿題するよういって下さい!!」と、お願いをされることがあります。私がクラブに行くと、何か言われることを予期したかのように机に向かっています。「何だ、自覚しているんだ!」と思いながらも「お家の方が心配して、Y先生が見に行って、宿題するよう声かけしてと頼まれたから来たよ」と伝え、「うん」と素直にうなずいてくれます。小学生になっても、卒園児を見守れる場があることに感謝しているこの頃です。

さて、25日夕方近く熊本の阿蘇地方で地震がありました。佐賀市でも震度3程度の揺れを感じ、私達も一瞬身が固まってしまいました。児童クラブでは、地震を感じるや否や子ども達は素早く机の下にもぐり身を守る体制に入ったそうです。そして、余震の可否を指導員に尋ねるくらい真剣な行動だったそうです。そんな姿から、毎日、毎回の繰り返しですが、子ども達の経験や知識となっていることを改めて感じました。これからも根気強く子ども達に向き合っていきたいと思います。

12月の目標

「言葉にする前に考えよう」

聞いて嬉しい言葉を話すよう、一度考えてから発言できるように促していきたいです。

言葉の重み

「だまれ」「死ね」と悲しい言葉が児童クラブでも聞かれます。言われた人も一緒になって盛り上がっている不思議な様子や雰囲気もあり、言葉の重みを考えていないことに危機感を覚えます。クラブではその都度話をしたり、みんなで考えあったりして対応していますので、ご家庭でもお話をよろしくお願い致します。

2学期もご協力とご理解、本当にありがとうございます!

夏休みを経験し、クラブの生活へ一気に慣れていった子どもたちでした。慣れた頃に起こる危険が増える怪我や事故がないよう児童と協力して、時には話し合いや考え合いをしながら防止に努めてまいりました。

また、ハロウィンイベントを行うことができました。クラブへ通う期待や製作、当日を通して、様々な力を育むことにもつながるよう、みんなでなにか1つのことを実行する喜びを感じながら充実感も味わえたように思います。

少し早いですが、2学期のお礼とさせていただきます。今後とも引き続き、さんこう児童クラブをよろしくお願い致します。

【お願い】

インフルエンザが大流行しています。クラブでも手洗いうがいや換気の徹底を行い、感染拡大防止に努めています。

以下の2点のご協力をお願い致します。

①咳や鼻水などの症状がある場合はマスクを着用させてください。(クラブで気になった際は、クラブで着用させていただきます。)

②学校を休んだり、学級閉鎖でクラブを利用しない時は、必ずショートメールや電話にてご連絡ください。

※ご家庭でも手洗いうがいを行い、体調管理に努めていただきますよう宜しくお願い致します。

☆少しずつクリスマス気分☆

お店や街は11月末には早くもクリスマス仕様に!クラブでも装飾品や製作、サンタクロースへのお願い事を書くことを通してクリスマスへ意識が向き始めています(^)クリスマス、冬休み、年末年始と楽しみなことがいっぱい待っているので、期待を膨らませながら過ごしてほしいと思います♪



←まつぼっくりにビーズを飾って、ツリー製作🌲

12月の学童児童数

	在籍者数	休所者数	利用者数	そのうち新規入所者数	12月末退所者数
1年生	12	0	12	0	0
2年生	4	0	4	0	0
3年生	14	0	14	0	0
計	30	0	30	0	0

「子育てと生成 AI」

西九州大学短期大学部 地域生活支援学科 講師 高元宗一郎

子育てと生成 AI：忙しい毎日に“もうひとりの味方”を

仕事に家事、そして育児と、日々多忙な保護者の皆さんの生活を根本から支える新しい技術——それが、今社会全体で急速に活用が進んでいるのが「生成 AI（ジェネレーティブ AI）」です。最近では、子育てや家庭生活の中でも、頼れる“もうひとりの味方”として注目されています。

保護者のための「プロの秘書」：

たとえば、毎日の献立に悩んだとき。「冷蔵庫にある鶏むね肉と人参、じゃがいもで、3歳児が喜ぶ栄養満点メニューを教えて」と聞けば、すぐに複数のレシピを提案してくれます。集中力が続かない子どもへの学習アイデアなど、年齢や興味に応じた具体的な提案も得意です。まるで、子育てに詳しいプロの秘書がそばにしているような感覚です。

煩雑な文章作成と情報要約のサポート：

また、保育園や学校への連絡帳、欠席連絡、PTA の案内文など、文章のトーンや形式に悩む場面でも、生成 AI は心強い味方になります。文面を瞬時に整えてくれるため、言葉選びのストレスが軽減され、気持ちにも余裕が生まれます。

上手な活用と知っておくべきリスク：

ただし、便利な一方で、注意すべき点もあります。AI が生成する情報には、事実と異なる内容（いわゆる“ハルシネーション”）が含まれることがあります。特に、医療や行政手続き、園や学校のルールなど重要な情報については、必ず専門家や公的機関の情報で確認する「ファクトチェック」が欠かせません。また、プライバシーの管理も大切です。子どもや家族の個人情報（名前や住所、相談内容など）を安易に入力したり、生成された内容をそのまま公開したりすることは避けてください。

生成 AI と共に、子育ての「ゆとり」を創り出す：

生成 AI は、うまく取り入れることで、保護者の皆さんの時間と心のゆとりを生み出してくれる存在です。まずは「今日の夕飯、何にしよう？」といった気軽な問いかけから始めてみてください。慣れてきたら、「子どもの習い事について調べて」など、少しずつ活用の幅を広げていくと、AI が思いがけない助け舟を出してくれるかもしれません。

この技術は日々進化しています。今日「ちょっと使いにくい」と感じた機能も、数週間後には驚くほど便利になっていることも。生成 AI の進化を、未来を生きるお子様たちの成長と重ねながら、ぜひ楽しんでみてください。